

チャレンジ ふくしま

応援隊通信



平成 28 年 2 月 vol.7

復興へ向けて歩む福島県の今を伝えるため「チャレンジふくしま応援隊」情報発信事業に取り組んでいただいている全国各地の福島県人会の活動報告をご紹介します。

八潮福島県人会 (埼玉県) 「やしおふるさとフェア」

今年度から「応援隊」事業を受託した八潮福島県人会では、5月24日(日)「やしおふるさとフェア」、7月24日(金)、25日(土)「夜市(夏まつり)」、10月25日(日)「やしお市民まつり」の3イベントに出展し、福島の物産の販売や観光PR、県からの委託の福島県アンケート調査などを行いました。

「やしおふるさとフェア」では、東日本大震災被害状況の写真パネルも展示しました。



県産品販売は、きゅうりや会津味噌などを販売しました。いずれのイベントでも、福島県の復興を願う多くの集客があり盛況でした。



東海福島県人会 「ふるさと全国県人会まつり」

9月12日及び13日の2日間、名古屋市久屋大通公園「久屋広場」において、ふるさと全国県人会まつり2015が開催され、福島県のPRとして当県人会も参加しました。

当県人会のブースでは、新鮮な桃をはじめ、喜多方ラーメンや家伝ゆべしなど本県を代表する名産品の販売、本県の観光PR、並びに当県人会への入会勧誘活動などを積極的に行いました。ブースに立ち

寄った愛知県の大村知事は、吉田会長から手渡された玉川村特産のさるなしジュースを「すっきりしていて、とてもおいしい。」と感想を述べられるとともに、復興に歩む本県に対し、力強く温かい言葉をいただきました。ブースでの物販は、二日間でほぼ完売するほどの大盛況ぶりとなりました。

また、ステージでは、光川フラスタジオの皆様にはフラダンスを7曲披露していただき、ダンス終了後はたくさんの拍手が沸き起こりました。

さらに、新企画の「お国言葉でふるさとPR観光大使大集合！」では、下山田相談役がユーモアを交えながら、温かみのある福島弁を使ったお国自慢を行うと、会場が優しい空気に包まれました。

まつりのフィナーレを飾る「ゆるキャラ大集合！」のステージでは、本県からキビタンが登場し、各地のゆるキャラ達とリズムに合わせて踊って、会場を大いに盛り上げました。

天候にも恵まれ、県人会会員相互の親睦はもとより、来場者に福島の元気を発信できた2日間となりました。



福岡福島県人会

「九州国立博物館 報道写真パネル展」

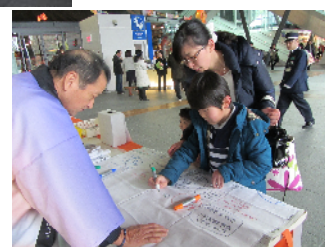
福岡福島県人会と九州国立博物館振興財団の共催により、2月2日から7日まで福岡県太宰府市の同博物館において、報道写真パネル展を開催しました。

博物館側から県人会に、東日本大震災5周年を機に記憶の風化を防ぐ企画の相談があり、福島民報社の写真パネルを紹介しました。

展示に際し、パネルの説明が必要なことから、県人会員が期間中会場に詰めて、観覧者の案内、説明に当たりました。

また、福島への寄せ書き、義援金を募ったところ、寄せ書きは布地4枚、義援金は14万円余りが寄せられました。

観覧者からは、復興にほど遠い現状への驚き・怒り、被害の大きさの悲しみ等々、さまざまな反響がありました。



(事務局より)

頂いた寄せ書きは、福島県庁本庁舎2階「県民ルーム」に掲示しております。

